

CSだより



西条のほたるっ子

昭和町立西条小学校
学校だより No.4
令和4年7月19日
校長 本田 司

【学校教育目標】『確かな学力を身につけた心身ともに健康な子どもの育成』

未来を担う子どもたち

観測史上もっとも早い梅雨明けとなり連日の猛暑が続き、新型コロナウイルス感染症と熱中症の両方への対策を強いられる中、ほどなく1学期の終業式を迎えることができます。保護者の皆様には、急な対応をお願いする場面もありましたが、ご理解とご協力をいただきありがとうございました。夏休みは家庭で過ごすことが多く、児童の成長にとっては貴重な時間となります。まだまだ感染対策をしながらではありますが、有意義な夏休みとなりますようお願いします。

先日、中北地区地域教育推進連絡協議会の研修会に参加し、二つの講演を聴く機会がありました。一つ目の演題は、「ヤングケアラーの子どもたち～その対応を中心に～」で、山梨県総合教育センターの依田勝芳先生からご講演をいただきました。ヤングケアラーとは、「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども」とされています。依田先生が対応してきた経験から学ばれたことは、本人が（周囲も）ヤングケアラーと気付いておらず、また、往々にしてヤングケアラーとしての相談ではなく、生活の問題として相談をされることが多いそうです。しかも、ヤングケアラー専用の支援方法があるわけではないということです。こういったことから、教職員には、感受性（アンテナの高さ）が求められており、まずは、ヤングケアラーの子どもたちとつながり、そして、寄り添っていくことが大切だとおっしゃっていました。

二つ目の演題は、「心を育てる～バレー日本一と地域の力～」で、日本航空高等学校の月岡祐二先生からご講演をいただきました。ご存じの通り、日本航空高等学校は、1月の春高バレーで全国優勝という快挙を成し遂げました。そのレギュラーに、押原中出身の樋口響選手が在籍していたことは、地域の子どもたちに目指す目標を与えてくれました。月岡先生は、「バレーを一（いち）にする心」をモットーに生徒に指導しているそうです。しかし、この意味は、単にバレーファースト（最優先）ということではなく、凡事徹底、高校生として、学校生活・寮生活（寮生がほとんど）・私生活をしっかり行うことができた上で、バレーを一番にするということだそうです。月岡先生自身、中学生からバレーを始めその中で心を育ててもらったそうです。選手たちに培われてきたその心が、きっとインターハイ予選では出場を辞退することになった逆境にめげず、みごと全国優勝をつかみ取ることができた精神力につながったのだと感じました。

久しぶりにほたるっ子のつといができました

6月16日（木）、3年ぶりにほたるっ子のつといが行われました。しかし、会場において来賓や保護者の皆様に聞いてもらうことができず、児童もひと学年ごと体育館にて発表し、それを教室に配信して、視聴するという形でした。保護者の皆様には、児童の所属する学年の動画のみ、すでに端末からご覧いただけましたことと思います。音楽の授業では、歌などの学習をしていますが、第三者に聞いてもらうことを前提に、学年で取り組むということは、通常の音楽の授業にはない、一つの物を創り上げる集団としての気持ちの醸成があります。各学年の発表は、それぞれに特徴や工夫が感じられ、響き渡る歌声や演奏に感動を覚えました。また、この会の運営は、音楽委員会の児童が務めていました。任された役割を責任持ってこなしてしっかりできました。



間隔を取って歌う児童

町教育委員会学校訪問がありました

6月28日（火）に、昭和町教育委員会の学校訪問が実施され、各教室での学習の様子を参観していただきました。太田教育長からは、「学校全体として、とても落ち着いた雰囲気を感じられ、教師も指導の工夫が見られました。」と、お話をいただきました。教育委員の皆様からも、「学年が進むにつれて成長する様子が見られました。ICT機器を活用していますが、さらに効果的な活用を進めてください。これからも一人一人の児童への指導・対応をお願いしたい。整理・整頓されており環境も整えられていました。」等の示教をいただきました。

学校運営協議会から

6月3日（金）に、第1回 学校運営協議会が開催されました。開会行事において、委員の皆様へ任命書が交付された後、会長に野澤敬夫様、副会長に篠原頼子様へ互選により選出されました。その後、協議に移り、学校経営や教育課程について説明を行い、承認をいただきました。意見交換等においては、SDGsへの取組を行動だけにとどめず、世界の状況を理解してなぜSDGsなのかという深い取組に期待するといった発言もあり、具体的に学校でこんな学習を実施してみようという話が進む場面も見られ、社会に関われた教育課程と言える展開になりました。また、本校の北にお借りしている農園の管理について、今まで関わってくださっていた角野佳男様に代わる方を探していたところ、この学校運営協議会を機に鮎川哲様と高野知宏様が引き受けてくださることになりました。会の後半には、町の小林CSDによる、コミュニティ・スクール学習会も行われました。



草を取る児童

愛校作業

6月23日（木）に、愛校作業を実施しました。30分間各学年で分担された場所の草取りに取り組んでくれました。ちょうど草が伸び始め気になり出した時期でした。隅々まで、熱心に行ってくれたので、ご覧の通り、ゴミ袋の山ができるほどの量になりました。



集められた草

昭和町ふるさとかるた

㊦ 「西条の 忠告の墓 文化財」 山本忠告（西条一区）

従五位下摂津守の山本忠告は、江戸時代の西条の若宮八幡神社の神主である。現甲斐市の山県大弐とも親交があり、和歌や国学を学び人々の教育に尽くした。町の指定文化財。

㊧ 「蝉しぐれ 緑の中の 伝承館」 風土伝承館杉浦醫院（西条新田）

風土伝承館杉浦醫院は、明治・大正期の歴史的建物として国の指定登録有形文化財となった。親子二代にわたって地方病の研究に取り組んだ杉浦医師の功績を紹介している。